

事業番号	387
------	-----

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	市民大学こまきみらい塾運営事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般			担当課	まなび創造館	
	事業期間	平成14年度			～	平成30年度以降			担当係	事業係	
	総合計画 分野別計 画	主目的	4 教育文化			18 男女共同参画			1 男女共同参画意識の高揚を図る		
		副目的									
	予算区分	款	10	項	5	目	9	大	4	中	3
	根拠法令・個別計画										
	実施・運営 方法	<input type="radio"/>	市が直接実施・運営			地域住民組織			一部又は全部委託		
			指定管理・外郭団体			名称:					
			NPO・その他			名称:					
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	女性と男性の意識改革につながる学習と人材育成を目的とした学習の機会を提供し、多くの方に学んでいただくとともに、卒業生が地域アドバイザーとして男女共同参画社会の実現を目指して出前講座等の啓発活動を行うことにより学んだことを地域に還元する。										
内容 (手段)	1講座5回の教養課程26講座(子育て講座、時事問題を知るための講座など)・1講座10回のテーマ学習コース・1講座15回の専門課程・1講座10回の卒業生対象のステップアップコース、及び入塾式・修了式に2回の公開講座を開催した。 年間講座計画と企画、講師との連絡調整、講座開催に伴う広報活動と事務処理(申込受付、名簿作成、講座資料の用意)、当日の使用機器の調整、また塾生の単位認定と管理を行った。 「はじめの一歩」男女共同参画おたすけ隊としてグループ化した卒業生は、22年度、味岡・北里・東部市民センターのつつじ・ゆうゆう学級、こまきみらい塾ステップアップコース、男女共同参画フォーラム、男女共同参画普及員研修会、3あい事業の8回、手作り紙芝居などを利用した市民の目線でわかりやすい出前講座を実施した。										
受益者負担	有	内容	講座受講料(塾生年間5000円、聴講生1講座1000円)								

			単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	4,848	4,303
正職員			従事者数	人	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,682	2,682	2,682
その他職員			従事者数	人	1.30	1.30	1.30
			人件費	千円	1,986	2,419	2,455
費用合計			千円	9,516	9,404	10,310	
対前年比		%		98.8			
財源	一般財源		千円	8,511	8,707	9,610	
	国・県支出金		千円	0	0	0	
	その他財源		千円	1,005	697	700	

業 績	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23
		塾生数	人	目標	120	120	120
				実績	108	103	
		聴講生数	人	目標	180	180	190
				実績	221	182	
				目標			
	実績						
	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23
		講座受講者	人	目標	910	910	1,020
				実績	1,068	971	
公開講座受講者		人	目標	1,250	500	720	
			実績	1,344	585		

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	塾生数が目標値を達成していないものの、聴講生や講座受講者が目標数を上回り、こまきみらい塾を通じて、男女の意識改革につながっている。ただし、男女共同参画社会の実現には、幅広い年齢層の受講と講座内容に工夫が必要である。				
	事業を廃止・休止したときの影響	男女共同参画推進施設として男女共同参画社会の実現に向けた啓発や取組み等の役割を担うことができず、市民の男女共同参画に関する学習の機会がなくなり、意識が低下する。				
	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	利用者のニーズに対応しながら幅広い年齢層の受講を目指すためには、内容や方策を検討する必要があることから、改善が必要と判断した。				
	今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	ステップアップコースの修了生が、23年度中にすでに地域の出前講座等で活躍しているグループと統合できるように支援していく。さらに若い世代が受講しやすい曜日と時間、内容に変更した場合の影響について分析していく。				

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)		
	判定理由	外部評価対象事業			